



12月は
表面だけです。



2年生

論文発表会

理数科合同発表会 兼、ステージ発表審査会



熱音響冷却装置の製作と冷却原理の考察



メートルブリッジを用いた物質の温度係数測定



不規則銀河Arp147の見かけの等級の差(B-V)の分布を可視化する



発表終了後、岡山大学 稲田佳彦先生(上)と本校教頭(下)から講評、感想をいただいた



NaCl溶液-Cu電極濃淡電池の陰イオンの影響



酵母菌を包み、胃を通過させる工夫



植物性乳酸菌の一般細菌に対する抑制効果



プラナリアの自切頻度に短期間の温度上昇が与える影響



インフルエンザの感染予防シミュレーション1211



標的型メール攻撃の水際対策ソフトウェアの開発

12月14日(水)、2年生課題研究「論文研究」の研究発表が行われ、9つの研究グループがスライド発表を行った。「論文研究」は、「創生研究」～「発展研究」で得られた研究成果を研究論文として仕上げていく授業である。この発表会は、論文作成の中間段階でその内容を発表時間5分にまとめ、自分達の研究成果をアピールし、発表に対する講評や聴衆からの意見を、今後の論文作成にフィードバックするものである。また、本会は、平成29年2月4日(土)に行われる第17回岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会におけるステージ発表の候補2グループを選ぶ、選考会としても位置づけられている(選考結果は右表)。なお、1月25日(水)には、2年生の最終校内発表会が行われる。

〔選考の結果 選ばれた
合同発表会ステージ発表候補〕

化学分野	NaCl溶液-Cu電極濃淡電池の陰イオンの影響
物理分野	熱音響冷却装置の製作と冷却原理の考察

1年生

サイエンスキャツスル2016(関西大会)

中学生



口頭発表を行う高校生グループ



ポスター発表を行う高校生グループ



高校生グループは「ヤンマー賞」受賞

12月23日(金)、大阪明星学園中学校高等学校(大阪市天王寺)において、サイエンスキャツスル2016関西大会(株式会社リバネス主催の中高校生の「学会」)が開催された。本校からは、新たな課題を自ら見つけ、考え、判断し、解決するに至った学びの過程を報告しあう場に参加し、意識の高揚を図るとともに、表現力、コミュニケーション力を養うことを目的に、高校1年生1グループ(「どこでも発電」)5名、中学3年生2グループ2名(「羽なし風力発電のモデル化 発電量の向上をめざして」「アレロパシー物質クマリンの検出」)が参加(全発表数、口頭発表12、ポスター発表108)した。口頭発表を行った高校生グループ(「どこでも発電」)は、見事、「ヤンマー賞」を受賞した。



ポスター発表を行った中学生